

特任教員（URA）公募要項

平成28年 6月15日

国立大学が国から支給される予算は年々減少の一途を辿り、文部科学省「国立大学経営力戦略」では、運営費交付金などの公的資金のみに依るのではなく、財源を多元化し強化を図ることが重要とされており、各大学は財務基盤の強化の一つとして、競争的資金等の外部資金の獲得をより一層強化する必要がある。

また、今年度から始まる第3期中期目標期間においては、機能強化に積極的に取り組む国立大学に対し、その機能強化の方向性に応じ、運営費交付金を重点配分する仕組みが導入され、各大学は文科省が定める3つの重点支援の枠組みのいずれかに沿った改革が求められている。

こうした背景のもと、大学のもつ人的資源の中心となる教員が果たすべき役割は増加し、研究に費やす時間の確保ができず、研究を取り巻く環境が一層厳しくなっていることから、本学では研究支援人材の確保が喫緊の課題となっており、研究者とともに研究活動の企画・マネジメントや研究成果活用促進を行うことで、研究者の研究活動の活性化・研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材であるリサーチ・アドミニストレーターを募集するものである。

1. 募集人数

研究・イノベーション推進機構 特任教員（URA） 1名（任期付）
（職名）講師又は助教

2. 職務内容と応募に必要な経験・能力等

研究・イノベーション推進機構の特任教員として、産学連携全般に関する企画・立案から企業と研究シーズのマッチング、産学連携実績の発信まで一連の業務を行っていただくことになります。また、主な職務を中心としつつも知的財産等の研究支援にかかわる様々な職務に携わっていただく可能性があります。

研究・イノベーション推進機構 特任教員（URA・産学連携担当） 1名（任期付）
職 名：講師又は助教

職務内容：研究・イノベーション推進機構に関する以下の業務

- ① 産学連携に関する情報収集・分析（アナリティクス等）、戦略の企画・立案を行うとともに、産学連携コーディネート業務（研究シーズの情

報発信・企業等との折衝)を行う。

- ② マーケティング等を行い、事業化に向けた戦略の企画・立案等を行う。
- ③ その他、弘前大学研究・イノベーション推進機構の運営に必要な業務。

応募資格：以下の経験・能力等を有すること

- ① 修士以上の学位を有すること又は専門職学位(外国において授与されたこれらに相当する学位を含む。)を有すること(理系が望ましい)
- ② 産学連携に関し、優れた知識及び経験を有すること
- ③ 大学・研究機関等での研究活動に加え職務内容に関する経験を有することが望ましい

3. 勤務場所

弘前大学 文京町キャンパス(青森県弘前市文京町3)

4. 勤務条件

(1)任期

採用日：平成28年8月1日から平成30年3月31日まで(雇用契約は会計年度ごとに更新するものとし、年度ごとに任期の更新の可否を決定します。)

(2)1日7時間45分、週5日、1週38時間45分

休日：土・日曜日、国民の休日、年末年始(12月29日～1月3日)

休暇：年次有給休暇、病気休暇、特別休暇(本学の勤務時間規程による)

(3)給与

本人の経験等を考慮して本学の給与規程に基づき決定します。

(4)社会保険等

健康保険・年金：文部科学省共済組合、雇用保険：有、労働災害保険：有

5. 応募方法

(1)提出書類

①から③の書類を提出してください。

①履歴書(写真貼付)

②研究又は職務に関する業績リスト(発表論文、取得特許、受賞歴、応募分野に関連する実績等)

③業務に対する抱負(A4 1-2枚)

(2)応募締切

平成28年6月28日(火)

6. 選考方法

書面選考の上，面接を行います。

(面接日については、面接対象者に後日連絡します。)

7. 提出先・問合せ先

〒036-8561 弘前市文京町3 コラボ弘大3階 弘前大学研究推進部研究推進課

電話：0172-39-3908 e-mail：jm3908@hirosaki-u.ac.jp

※封筒に「リサーチ・アドミニストレーター 応募書類在中」と朱書きし、書留郵便で郵送してください。

8. その他

面接のための交通費等の経費は応募者においてご負担ください。

提出書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。審査終了後，大学において個人情報に注意し，適切な方法で処分します。